

発表テーマ「シナジーはエナジー —教職協働で大学に活力を！—」

1. テーマ選定理由

(1) 大学の役割と現状

本グループは、大学の役割を「建学の精神に基づき、時代の要請を加味した教育・研究の実践」とした。しかし、近年大学を取り巻く環境の変化に伴い、本グループでは大学の現状として、様々な問題が挙げられた（図 1 参照）。こうした現状に対し、教職員が協働で大学の役割や現状を改めて考え、問題を解決する必要があると考えた。そこで本グループは「シナジーはエナジー」（シナジー：教職協働によるシナジー【相乗効果】による大学の活性化、エナジー：限られたリソースで最大の効果を得る）をテーマに選定することとした。



図 1

2. 問題点の深掘

大学を取り巻く多様な問題は、職員だけ・教員だけでは解決できない。加えて、

- ① 時間的余裕がない
- ② 大学の方向性を議論できるほどの知識がない
- ③ 大学の在り方を話し合う場がない

などといった要因により、教職員間・職員間で情報共有ができていないことが討議により挙げられ、その点に着目した。

3. 解決策の検討

大学としての取り組みは、大学の役割や現状についての知識を全学的に共有し話し合うことが重要であると考えた。しかし、「時間がない」、「職員視点・教員視点だけで考えがち」など、解決策実現のためのハードルがある。そこで、本グループは打開策として、業務を効率化し時間を作り、お互いのことを知って共に解決することが必要であると考えた。

4. 大学イノベーションの提案

本グループでは「教職員ポータルサイトの活用」を提案した。本グループの中には教職員ポータルサイトを既に導入している大学もあれば導入していない大学もあり、また導入していてもあまり活用がされていない大学もあったため、相互に意見を共有し、どのようにしたら教職員ポータルサイトの活用が教職員間・職員間の情報共有に繋がるかを議論した。そして「教職員ポータルサイトの活用」を次のように提案した。

I 教職員間でファイル共有、資料共有、電子決裁、電子申請

⇒業務の効率化により、時間的・精神的余裕ができる

II ポータルニュースの発信で知識共有（ニュースはAIが収集）

⇒知識の共有で教職員間のコミュニケーションを活性化させる

III 業務や知識の共有内容を議論する場を設ける

⇒大学の役割や在り方などを議論することができる

このポータルサイトでは教職員間・職員間の情報共有に焦点を置いているため、学生は対象としていない。またポータルサイトはあくまでもツールであり、本来の目的は Face to Face による教職員間の繋がりを強化することにある。時間的・精神的余裕が生まれることにより、Face to Face で 教員・職員が一体（相乗効果） となって、大学の役割、在り方を議論することができ、このように協働することによって、社会や時代の要請に応えられる大学づくりが可能になると想定される。そしてこれにより 社会の要請に応える人材の育成 をも行うことができると考えられる。

以上